



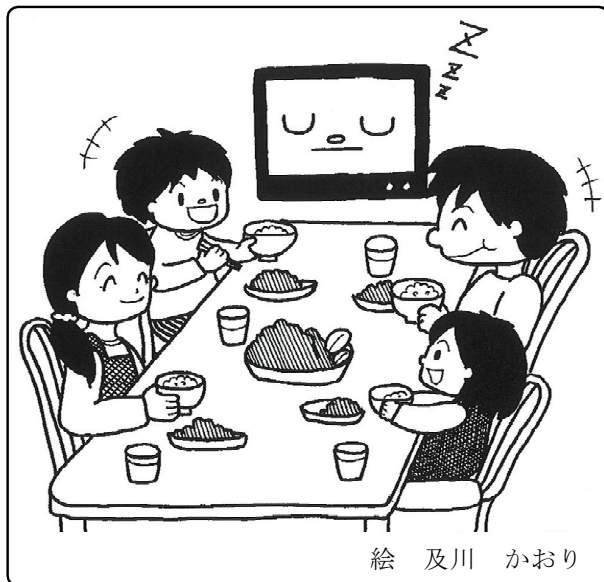
食事の時は テレビはお休み！

目白大学 子ども学科
島田 治子 先生

テレビが誕生してから55年がたち、その存在は空気と同じくらいに「あるのが当たり前」。しかも、常にスイッチオンが当たり前です。当然、食事をする時にもテレビが消されることはありません。テレビがついていなくても、食事はするのだから関係ないと考えがちですが、この生活習慣が家族を崩壊の方向へ、じわりじわりと押し進めている危険性があるのです。

かつてテレビがなかった時代の食事風景は、卓袱台の周りに家族が座り、互いの顔を見ながら話をしたり、母親の手料理を味わったりするものでした。しかし、テレビが食卓の王様になった現代は、家族全員の視線がテレビ画面の方を向いています。番組がおもしろければ

おもしろいほど、視線は釘づけとなり、今、口に運んだ食べ物がごはんかおかずかも意識されることがなく、ましてや香りを感じることもなくなります。これでは食事ではなく“えさ”になっています。人間の食事は栄養素さえ補給されればいいのではなく、料理を楽しみ、香りをかぎ、舌で味わい、五感を総動員して食べてこそ、真の栄養になるのです。テレビ番組に熱中すれば、無口にもなります。たとえしゃべっても、それは画面に向かって言葉が発せられているだけ。相手の目も見ず、自分が言いたい言葉だけを言うのは独り言であって、会話とは呼べません。笑いについても同様です。家族全員が笑っていれば、いかにもなごやかな時間を過ごしているように感じますが、その笑いは画面の中のタレントに向けられているだけ。家族がお互いの表情や言葉におもしろさを感じて笑うわけではありません。家族といえども別の人間です。しっかり目を見てお互いの情報を交換していかなければ、何をどう感じ、何を考えているのかを知ることは難しいでしょう。それなのに、テレビは知らぬ間に「家族の視線」を奪ってしまいます。同じ建物に住んでいるだけの“ホテル家族”にならないため



©=㊦ロ㊧㊨㊩㊪㊫

大人の知能トレーニング

出題 和田 秀巳

「概念の単位を認知する」この知能因子は、単語の意味を理解しているかという能力です。あなたどれだけ理解できてますか？

「問題」①～⑤の意味にあった単語を下の選択肢からえらびましょう。

- ① つりあうこと。
- ② めあて。
- ③ てらしあわせること。
- ④ 大いにかつこと。
- ⑤ 軍人の一番高いくらい。

イ. 隊商 ロ. 対照 ハ. 感謝 ニ. 大賞
ホ. 対象 ト. 大将 チ. 対称 リ. 対症

には、テレビをつけっ放しにしないことが大事です。特に食事時はゆっくり会話が楽しめるため、家族の絆を深めるためにもってこいの時間。

食事時の王座をテレビから奪い、手作り料理と会話に戻してみましょう。

《編集後記》

「ホテル家族」というのは、家人がそれぞれ自分の好きな時に勝手に食事をし、自分の好きな時間にシャワー（風呂）を浴び、自分の部屋にこもる。

会話もなく、何のつながりも必要としない、まるでホテルで生活するような家族のこと。

幼い頃から自分の個室で生活することが、以前は理想的とされていたが、近年では、幼児期における過度のプライバシー尊重は、問題行動を起こす温床となっているとの指摘もある。